

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（24）（23）」

2. 日時：令和5年8月25日（金） 15時00分～15時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部

執行役員 赤司副本部長 他10名

（このうち7名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

〈〈本年8月17日に受取済み〉〉

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）の影響について
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）の影響について
- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性について（特定重大事故等対処施設を除く）
- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性について（特定重大事故等対処施設）・・・（非公開）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	下になりましたのでただいまから、玄海現象か伝承、衛藤。
0:00:07	の、地盤斜面と、あとは玄海川内の長期評価について、
0:00:13	こちら今週の火曜日にですねヒアリングを実施してますけれどもその続きということで同じ資料を用いて追加の確認、コメントを
0:00:24	したいと思います。
0:00:26	説明としては何、なので一度火曜日にお聞きしていますので、こちらからのコメントと、
0:00:36	いう形で確認をしていきたいと思います。
0:00:42	では、まずですね、地盤斜面、
0:00:46	いうことで、
0:00:47	こちらは、
0:00:51	資料ちょっと待ってくださいに資料を準備します。
0:01:06	はい失礼しました。なので玄海の地盤斜面特定重大事故等対象施設を除くPT039、これも前回ご説明いただいたものになりますけれども、
0:01:19	まずですね、
0:01:20	例えば5ページ目、
0:01:26	前回のヒアリングの時にですね、今回この確認する事項確認不要と判断した事項というようなところについて、適合条文ですかね。
0:01:38	対応条文を
0:01:40	記載してくださいと。
0:01:41	というようなことは申し上げておりますが、ちょっともう少し準適合性の確認の話と、
0:01:50	基準適合性は御社として確認して我々として確認するときに、その評価なり、解析が不要なのかっていうところを、もう少し正確にですね書いていただきたいという趣旨です。
0:02:03	何で今回の申請で、基準の適合性を確認するかどうかという意味では、別にこの下の部分も確認が不要なわけではなくてですね。
0:02:13	一方で、
0:02:14	例えば返上ですよ。
0:02:17	これは評価評価で評価してあるから不要。
0:02:23	ということではなくて、評価の時に、非対象施設は直接またはマンメイドロックを介して岩盤に支持するように設置する方針。
0:02:34	だから、主、市営、変状の影響なんか、液状化とか、そういう変状の影響は受けない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:40	今回、直接またはマンメイドロックを介して岩着する。
0:02:45	設計というのは、それが変わらないんで、今回改めて見ますと、現状も変わってませんよっていうところをもって、なのでこれ確認不要というか評価が不要ということですかね。
0:02:58	そういう趣旨で書いていただきたい。上の括弧書きはSs1による評価不要って多分これはその通り評価不要なんですけど、
0:03:06	何かその基準適合上の確認が不要ですというところとはちょっと趣旨が違う形になるので、
0:03:14	例えばですねそういう話です。地殻変動の方も、一応前回のヒアリング火曜日のヒアリングの時にも、これは今書いてあるような、当時SSに生産でやってたから不要ということではなく、
0:03:27	ここは端的に、これ震源を特定せず策定する地震動なので、
0:03:34	特定の断層で起こった地震による地殻変動というものは考慮する必要がないんで、不要ですというような趣旨をお伝えしたと思いますんで、そういうその負、なぜ
0:03:45	評価が不要な解析が不要なのかっていう理由になるように書いていただくと。
0:03:50	斜面の方も、
0:03:52	確かに当時ですね、許可で評価対象とすべき斜面は存在しないことを確認済みだからということではなくて、多分これも施設の評価対象施設の位置、
0:04:03	或いはちょっとここは多分、これまでの申請書とか、そういうところとかを見ていただければと思いますけど。
0:04:10	位置とか、或いは距離とかですかね視野斜面の形状だったかな。
0:04:15	多分そういうものが変わらないので、従って、改善評価が不要なんですっていう形で、一度過去に説明してあるんで不要ですっていう、そういう説明だと、そこは舌足らずになるので、
0:04:26	ここはしっかりと修正をしてくださいという。
0:04:30	イシイです。
0:04:31	もう少しちょっとこの部分で、具体的に何か確認しておく必要があればし、おっしゃってください。
0:04:40	はい。九州電力の徳永です。今先ほど鈴木さんからいただいたお話ですけれども我々として今回その基準適合として、改めて今の評価内容を、に照らしたときにその内容が変わっていないことをもっ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:56	て、基準適合しているんだというふうに、前回評価してたから、不要なんだよということではなくて、今回基準適合として改めて照らし合わせたときに、変わっている現状、昔の評価から変わっていない。
0:05:08	ということをもって、基準適合合致してるんだということをきちんと分かるように記載するというご趣旨かなというふうに理解をしていますが、そういった認識で間違いはないでしょうか。
0:05:20	はい。結構です。例えばですね今言った先ほど同じこと言いましたけれども一応いわゆる指示の変形のうち、
0:05:31	いわゆるその液状化とか揺すり込み沈下の部分については、これは当然本体の許可の時とか或いはキャスクの許可のときもそうですけど、一応岩盤に支持されている、もしくは迷路
0:05:44	コンクリートによる置き換えによる岩盤に支持される設計としていることから、いわゆるこの液状化揺すり舗装に影響を受ける恐れはない。
0:05:54	と言って基準適合性を説明いただいてこちらはそれを確認していたということになるので、そこが変わらないということをもってここは評価が不要。
0:06:05	という形で書いていただくと。
0:06:07	いうことで、なんでこれ、確認する事項とかSsの評価が要るかどうか。
0:06:14	という表題にした上で、
0:06:16	それが不要だというのはこうだという形で書いていただければと思います。
0:06:22	ここはそういうことでよろしいですかね。
0:06:26	で、次にですね、これはもう少しその資料の透明性の確保という点で工夫できないかということでもあります。
0:06:39	ごめんなさいその前に申し上げておくと多分この内容というのは、これは内容として、具体非公開の内容なので、詳細な施設名とかまでは申し上げませんが、
0:06:49	これ特重についても同じなので、特重の方の公開のですね、資料の方も同じように先ほどの部分は修正くださいということです。
0:07:00	その上でポンドはですね極力
0:07:03	公開可能なものについて極力公開するような工夫できないかということ
0:07:11	で6ページ目なんですけど、 確かに、この下の図ですね、これ、表紙とか下にも断りないんですけど、多分この太い点線って、これは何か防護上主

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:22	或いは商業機密のため公開できませんっていう、その凡例の点線ですよ。多分資料の表紙とか、それぞれのページに断り特に書いてないですけど
0:07:33	はい。九州電力の徳永です。今鈴木さんのご認識の通りは、
0:07:38	ごめんなさい。これですね。はい防護上の観点から、その時に、確かにこの今使ってる図面を買おうと。
0:07:47	これわあ、理由ぐらいいは今この場で多分、いえるかな。大丈夫ですかね。
0:07:54	多分特性の説明とか、あんまりそこまではもう言ってしまうと、公開できないっていう意味はならないと思いますけどただ、こういうようなことからこの分が今公開できないっていうのは、
0:08:05	いえる範囲で結構ですので、ちょっと理由をお聞かせください。
0:08:13	はい。九州電力の徳永です。
0:08:15	マスキングをしてるところについては公開できない施設について、位置情報がわかってしまうものについては基本的にマスキングをするという観点で、マスキングをしているというところでございます。
0:08:29	以上でございます。
0:08:32	はい。
0:08:33	ちょっとここもですね、何というかこれ、他のサイトとかもそうですけど、多分下地に書いてある図面がですねかなり詳細な
0:08:44	ものだと、当然いろいろな情報が含まれるということで、そのままだと公開できないって。
0:08:50	いうことかなと思いますけど、人によってはきちんとその評価対象特にこれ設計基準対象施設なので、石油基準対象施設の配置とか名称、
0:09:00	時代に何かそのを出せないものが、
0:09:04	あるかという多分そういうことではなくて、この裏に書いてある、裏のこのベースとなっている図面自体が詳細だから、多分そういうことになるんだと思うんですけど。
0:09:13	このあたりは、少しですね、極力なぜ設計基準大切なのにとかですね、サイトによってはこれ、重大事故等対象施設でも、図面をかなり簡略化するような形にして、
0:09:26	公開できるようなですね、形にし工夫をして、
0:09:29	いわゆる透明性を確保するという工夫されてるサイドもありますので、この辺りですね、当時使ってた図面と同じ図面だから公開できないっていうことで今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:40	こうなってると思うんですけど、このあたりは、極力ですね、工夫いただきたいってのは多分これ、6、七、八ページ後はそれぞれ後ろに行くと、
0:09:51	おなじようにですね多分それぞれの解析結果出す時に、断面図のところ、
0:09:58	マスキングがかかりますよということになってると思うんですけど、
0:10:03	ちょっとここはちょっと、可能な限りですね工夫してですね 13 ページは、
0:10:08	これも多分、これは下Gがそうだからなのか簡略化したとしても、駄目だというのが御社のその防護上のルールとしてですねなっているのかっていう。
0:10:21	とかに得ると思いますけど、この辺もサイトによってはですね、別にこれ DBSAキャスク
0:10:30	いうのを、この断面図とかですねこれをまとめた断面図についても別に公開できるような図面で公開してるサイトもあるので、も含めてちょっと工夫を
0:10:40	検討いただきたいということです。
0:10:52	はい。
0:10:53	ちょっとここはご検討いただきたいかなということです。
0:10:59	その次にですねちょっと待ってくださいね。はい。
0:11:04	あとは先ほど
0:11:07	評価が不要としていたところの理由。
0:11:10	についてと同じようなことなんですけど、例えば 9 ページですね。
0:11:16	評価対象断面評価における評価方法、評価条件断面としては、この 3223、1、2 か地下 34568 断面ですと、
0:11:28	ということで、これが今回、許可の評価法評価条件から変更なしなんで許可の評価対象断面と変わらないと、ということなんですけども、これも、
0:11:38	いわゆる清川の時から変わらないっていうのは、多分評価の時もですね、この断面で、
0:11:44	多分施設の位置と、施設周辺の何か地形かな。
0:11:49	とあとは何か地質地質構造等を踏まえて、この断面を決めてます。
0:11:54	それが今回多分施設の配置とか、周辺斜面の形状とか、斜メディアが周辺地形のカッチ系とか、
0:12:03	それをですね裏返すような形でここもかくかくしかじかで、だから断面の変更がないというのが、ここはわかるように書いていただきたい。
0:12:14	ことです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:18	はい。九州電力徳永です。9 ページにつきまして評価対象団員断面解析予備設置解析方法も含めまして、
0:12:26	なぜ変更しなくて良いのかということも、
0:12:32	適正化をしていきたいと思います。以上でございます。
0:12:37	はい。
0:12:38	お願いします。そうですね例えばこれキャスクのときかな。
0:12:43	ですけど
0:12:45	例えば多分使用済み燃料の貯蔵建屋ですねこの木曾周辺の、なんで施設の配置と、周辺の地形及び地質地質構造を考慮して、
0:12:55	斜面をここに決めてますってということなんでそういう形で書いていただきたいとか。
0:13:01	あとパラメータの方は、これまでもほぼここ、
0:13:06	各種の調査結果をもとに設定していたわけで、そこが新しい歌わないのでこれは変更しませんとか、
0:13:14	あとは、一番下の解析。
0:13:18	方法のところも、特にあるとすると、例えば
0:13:22	せん断強度のばらつき、地下水とか入力地震動の位相反転とか、
0:13:28	こういうようなところは、これは変わらないというところでももう少し
0:13:33	左側ですかね、解析方法解析条件のところには我々も審査書なんかを作成するときにはですね、特に重要なものについては、
0:13:45	中身として書いていて、特に解析にあたってせん断強度のばらつき、地下水とか入力条件の入力地震動の位相反転について考慮すると。
0:13:55	いう方法はもともとやっていて、その方法を変えないというところがわかるような形にしていきたいと。
0:14:03	ということです。その時に、これヒアリングでも確認しましたがけど、このせん断強度のばらつきってすべて、これは多分、
0:14:10	地下水位とか入力地震動の位相反転をすべてやるんですけど、多分せん断強度のばらつきについてはこれは、何だ、これは前最終結果ですね一番厳しいものについてやると。
0:14:22	ということなんで、多分それは、せん断強度のばらつきっていうところに例えば米印を打って、こういうものについてやると。
0:14:30	いう、すべてのSsについて、中で一番厳しい結果についてやるとか、多分そういうそれ多分後に書きましたよね、フローの方に。
0:14:40	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:41	いうことを書いて、そこもちゃんとですね、米印なりでここで書いておけば、
0:14:47	後の結果を見たときに、あれ、Ss6 の結果で、このせん断強度のばらつきってどれだけとってないよねっていうことにもならないので、
0:14:57	そこら辺は、場合分けでやるようなものについては、ここで
0:15:03	ですね、わかるような形にしていきたい。
0:15:06	あと、最後この右、なお書きのところ、
0:15:10	ここですねなお、
0:15:14	建屋についてこれはここで建屋の重量のお話だと思いますけど、ちょっとこれも設定が保守的になった。
0:15:22	いうところには、
0:15:24	保守、
0:15:25	どういう言い方にした方がいいかというところちょっと裸で急にここで出てくるんで、いろいろヒアリングで何回かですね話を聞いている我々は
0:15:36	あるんですけど、ちょっとこれをぱっと見たときに、
0:15:39	すぐわかるかということで、
0:15:42	うん。行動工夫していただけないかなあという願いがもう 1 個書くときにですね。
0:15:50	整形詳細設計。
0:15:55	これ、わあ、
0:15:57	そしてはこれちょっとでき
0:16:00	てて、確認している、
0:16:10	はい。
0:16:11	いうところで、
0:16:12	奉仕的であることを確認してる今回これ今回確認したと、いうことなのか、これ許可の時に確認していて、
0:16:24	特にこれ、今回、
0:16:26	許可の時の評価以降で、
0:16:29	これちょっととどんどん時の沖工認の話をされてくれ。
0:16:33	キャスクの時の既工認とかも含めてるんですかね。でもこれ、
0:16:37	一旦、御社としてはこれ、わあ、
0:16:40	あれ、新規制基準適合の、
0:16:43	設工認の時の話は、これは、
0:16:47	1 回特重の時に地盤斜面の評価って、やり直してますよねその段階で、
0:16:53	確認してるんであれば過去のことだし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:55	それを今回、Ss分が追加されてすべての施設対象になるんで、今回確認したんであれば今回のことなんですけど、
0:17:04	ちょっとその辺りも含めて正確に書いていただきたいかなという。
0:17:08	そうですね。はい。
0:17:10	九州電力の徳永です。最初、
0:17:13	機構につきましては特重と緊対緊急時対策棟ですね。
0:17:19	までがかかってまして、限界のキャスアノキャスクの方はまだ公認が始まっていない状態でございますんで、緊対までの既工認の重量を、当時野瀬設置、設工認のですね、
0:17:31	設定された重量等を調べまして、調べましてそのときと設置許可で設定した重量をエミテ、10、もともと設置許可で設定していた大きめの重量の内数だということを確認しているというところでございます。
0:17:46	で、記載の場所については唐突感もあるというところもございますのでもう一度記載する場所も含めまして再考をさせていただきたいと思えます。
0:17:57	はい。よろしく申し上げます。はい。
0:18:01	ところですね。あとは、
0:18:05	いいかな。はい。
0:18:09	1点よろしいですか。はい。この9ページのところで先ほど審査書にもありましたばらつきのお話を、解析方法のところというふうにならうにちょっと今、
0:18:20	聞いていたと思っているんですけども、一応このばらつきの変形特性と強度特性がございまして主に滑り安全率に効くところは強度つ
0:18:30	強度特性についてばらつきを考慮するというところで今解析用物性値のところにも、もともとその強度特性の設定としてばらつきを考慮するというふうに記載をしておりますので一応ばらつきについてはこちらの方に記載をさせていただきたいと、正確にですね。
0:18:44	先ほどSs1から6全部含めて評価をするというところを担っているんですけどこちらの方に記載をしたいと考えております。
0:18:53	すいません。はい。はい。規制庁スズキすみません上の欄ですねごめんなさい、ばらつきの方。はい。
0:18:58	というところで、
0:19:01	地下水と位相反転これどっちの区分になるんですかね。これは解析方法の方にあるんですね。はい。
0:19:07	わかりました。ということでちょっとこの全体ですね冒頭の方針。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:13	とかですね条件みたいところで、基本的なところは押さえておいていただいて、もちろん物性値のばらつきみたいな話は、17 ページの方で、具体は、
0:19:25	私はあるんですけども、ちょっとここに行かないとその後訳がわからないとか、ここに行かないと今回のSsループで、必ずしもすべてのケースで評価するわけじゃないとかですね。
0:19:36	どういう場合に評価しなきゃいけないのかしなくていいのかっていうのは、わかるようにということでお願いします。
0:19:42	応力再配分の方は、多分これは、何ていうか必ずしもというところで、多分我々も審査書の中で取り立ててやってるものではない。
0:19:54	ので、多分冒頭のこの解析物性時だったり解析方法のところ、そこまでは書いてないんだと思うので、そこら辺は軽重をつける形で結構ですので、はい。
0:20:07	いうところですね。はい。
0:20:11	お願いします。
0:20:21	まずこの地盤斜面のところについては以上になります。
0:20:27	もう1点が、
0:20:32	もう1点とかもう2点なんですけども、
0:20:34	長期評価の方ですね、こちらの方に行きたいと思います地盤斜面のところ、他に何かコメント。
0:20:41	確認ある方、なければちょっと長期評価の方いきたいと思いますが、よろしいですかね。
0:20:47	九州電力の方からも地盤斜面のところで、何かありますかなければ、長期評価の方いきますけど、よろしいですか。
0:21:00	はい。
0:21:01	長期評価の方なんですけど、まず、一般、
0:21:08	冒頭長期評価の概要とかですね、こういったところで、
0:21:13	まず一番のオーダーは、今回、例えばですね5ページのところもう一応、
0:21:20	このを概要としてどういう引用した反射断面と書いてあるんですけど、ただ後ろを見ていくと、少し
0:21:28	日本した反射断面もそうですしあとは、後の、
0:21:32	個別断層の評価の時の違いのところ、参照するかは別として、長期評価で活断層の認定

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:42	認定といってこのデータを使ってみ、選定しましたってのあるんですけど、
0:21:47	この辺をもう少し長期評価の方でこういうものを断層として認定する方法をですね使うデータとよりも、方法で確か原則、先進性だとかということのの違いもあったりしたその
0:22:00	その違いを取り入れるとか取り入れないとかそういう話ではなくって、まずそういう差分というのははっきりわかるようにしていただいて、まず幸田と使ったデータの差分とか各断層の認定の、
0:22:11	方法だったり考え方の差分みたいなものを、はっきり同時書いていただいた上で、
0:22:18	6 ページはこれをもうなんていうことだと思いますけどその上で今度許可のこれ一文献断層文献調査の結果との比較なりをして、差がありますと。
0:22:31	そうすると、長期評価と許可の評価とでこういう差があるので、じゃあ何を確認しなきゃいけないのかというのがはっきりとですね、わかるような形で、
0:22:44	そのあとで、この影響確認のそれに基づいて協会の方針に入るようにしていただきたいというのが、
0:22:51	まず、点で、
0:22:53	それはなぜかということ、3 回、2、3 回聞いている我々は当然ながらその長期評価の方も読みながら確認してるんでわかるんですけど、きちんとその客観性を持ってですね、
0:23:06	何ていうか御社が説明で聞かれれば口頭補足するし、当然我々も誰かに私が説明する時であれば行間を説明すると、それを聞かないとわからないような資料だとですね。
0:23:20	にならないようにということです。
0:23:24	で、その上でですね、そうすると状況かと、許可の評価とで何が差分があるので、従って何を確認しなきゃいけないかということなんですけど。
0:23:35	この境界の影響っていうときに、
0:23:38	これは許可、今回の状況を踏まえて御社がどういう対応をとるかにもよるんですけど、
0:23:44	一つ、二つある、人道と津波ひっくるめても二つあると。
0:23:49	まして一つは、いわゆる基準地震動基準津波これだからそのままそれが変わると、変える必要があるんだったら、これは当然設計施設なんですね直接影響するようなもの。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:00	その観点でや長期評価を
0:24:03	取り入れても、影響がないんだという、
0:24:07	の路線と、
0:24:09	もう一つは
0:24:12	一方で基準地震の基準ってのは変わらないんだけど、許可の活断層評価の途中ですよ、途中の段階に影響があるのかないのかと。
0:24:21	いような話があつて、一応基準地震動基準津波の方は、
0:24:26	後ろから参考という形で、今ご説明説明としては聞いていて、基準地震動の方はこれは長期評価を踏まえても、
0:24:37	検討用地震としては選定されないで、対津波の評価の方はものに、断層によってはパラ詳細なパラメータスタディやるんだけど、それでも基準津波との関係で影響がないっていう多分この辺と、
0:24:50	あとは今回前半で説明している基準、活断層評価への影響っていう、この部分なんですけど。
0:24:58	これアプローチとして、活断層評価のところについて1課で一応御社としては、
0:25:04	これはもう状況下を取り入れて活断層かを変えた上で、深度ですね基準地震動を決めるために影響がないという路線ではなくて、一応ここは活断層評価のところ、
0:25:16	変わらない、変わらないから基準地震動基準津波にも当然影響がないと。
0:25:20	い形での説明なので、そうするとこの活断層評価のところについてですね。
0:25:27	これが今、確かに一応許可の活断層区間の流れに、そういうような形で、例えばこの100キロだとか、あとはその他断層と評価できるとか、
0:25:38	自社の評価の方が長く評価してますとか、こういう話はですね、これ多分評価の時に、もし仮に評価なり、審査の中で申請の中で、
0:25:50	こういう状況下みたいな情報があつて、それは既往の知見と別の判断をする場合には、きちんとその差分で、自社の判断が妥当なんだっていう説明の中で、
0:26:00	おそらくこういう全くほぼ同じことをですね、こういう確認も、確認の程度もですね、同じようなことをやって、オミットしているであろうというのが①②だと。
0:26:11	ですけど、一方で、③ですね。
0:26:15	これヒアリングの中でも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:16	共済に確認は
0:26:20	るんですけれども、
0:26:25	丸さんみたいなところで、確かに長期評価上、
0:26:30	具体的にこの端部はこの測線で決めたまでそこまでを、確かに細かいことは書いていないので、一応御社としては差異が認められてそれを22ページとかですよね。
0:26:42	おそらくこの測線で主に推定してるんであろうと。
0:26:48	いう形で書いているんですけど、
0:26:51	じゃあ、ここでなので冒頭ですね、少し活断層の認定の仕方とか長期オカとの差異とかもう冒頭書いておいてくださいと言ったのは、
0:27:00	仮に、
0:27:01	御社は一応音波探査記録が我が社の方が多いと。
0:27:05	地震本部は、超地質調査での音波探査記録でやってるであろう。
0:27:10	それに、我が社はそれに加えて解放電中研自社の測線と違って出してますよね。
0:27:15	そうすると、そういうときに、
0:27:18	町議評価でやってるだろう。御社としては地質調査上のデータだけだと、今、今のいわゆる警護断層なり壱岐北東部の断層群のこの端部も含めての評価に至らないけれども、
0:27:32	ただそれにプラスアルファで海保電中研自社の評価があるからそれが、24ページみたいな評価になるんですっていう、段階を追って当然当時も評価をしていたはずなので、
0:27:46	長期評価とデータの差分にあるの、あるんだということであれば、いや地質調査上のデータだけだと、こういう
0:27:55	ここで断層が認められるとか或いはその警護断層と壱岐北東部の断層を分断できるような、
0:28:02	データではないんだけど、
0:28:04	ただ解放とか自社できちんと取った測線とか、そこで獲られた性状とかを見ると、これは警護断層と壱岐北東部でここできっちり分かれるんですとか、
0:28:13	多分これ、仮に許可なりですねこれシーン、これがもう長期評価2020年ですけど、これがもし10年前にこういうものが出ていたのであれば、
0:28:23	当然ながら説明されるであろう説明しなきゃいけないような内容。
0:28:27	ということを念頭にですね、きちんとここは説明をさせていただきたいと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:34	そういう説明を、多分そこは阿南で強化活断層評価への影響確認ということになるので、
0:28:40	ここは、仮に、こういう情報をですね、
0:28:44	説明していたんだとするとどうなったのかっていうのを、少しそこら辺想像を働かせて説明いただきたいと。今だと、何かデータ量に差があります、うちの方がデータが多いです当時こういう評価してました。以上になってしまうので、
0:28:59	ここはやっぱりこう、
0:29:02	町地震本部とかですね、そういったようなところの判断と異なる判断をするということであれば、ここは、いや、我が社がこういうデータが追加されたことによって、
0:29:13	今のこの評価に至るだというのが、
0:29:16	ここは段階を追ってわかるようにしていただきたいというのがこれ例えば卸近海ですね。
0:29:22	対馬のヒガシ水道の方は、確かにこれも差があって、これは 30 ページとかですかね何か図面を見ると、一応この
0:29:33	を使っているであろう測線の差があるということなんで、
0:29:37	これも、
0:29:40	いわゆる長期評価で言われてるような断層認定をするときの深さの、
0:29:46	話なのか或いはこのデータの量の差、一応御社データの量の差だということなんであれば、
0:29:53	これは地質上の音波探査記録だけだとどうなる、どうなって、それに書いてゴトウ石油公団の音波探査のこの
0:30:02	6000 を足すとこうなってるっていうのが、一応段階をですね。
0:30:07	説明するようにしていただきたい。今だとその最後の部分ですよ。我が社はちゃんとここのこのデータで止めましたっていうことなんですけど、
0:30:16	そうすることによって、
0:30:18	御社一応水位、あくまで推定レベルですけど、長期評価では、確かにここまで長さが引かれるかもしれないけれども、
0:30:26	我々はもっとそれにプラスアルファのデータで、手前で止めれてるんだということで、
0:30:32	きちんとですね、超強化と異なる評価をするということであれば、これは段階を追って説明するというのこれは同じ話です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:42	第1ゴトウ田井断層体の方はこれ、同じように北部中部南部ということで、これは多分、ヒアリングの時にも、長期評価で
0:30:53	北部中部南部とそれぞれで認定し、されているということに対して、
0:30:58	元のところはヒアリングで大分詳しく確認をして、何か御社ある程度やっているであろうというところまでは、お聞きはしてますんで、繰り返しは個々申し上げませんが、
0:31:09	ちょっとこれを、
0:31:10	仮に許可の活断層評価のときにこういう情報があった場合にどうするのかというところで、今後資料としては作り込んで、いただき
0:31:20	たいというかやられてるであろうという前提で申し上げますけど、当然のことながらこれは、知見が出たときに、その知見を御社の中で常にスクリーニングしていく過程で、
0:31:32	きちんとやっているだろうという前提で申し上げますんで、
0:31:36	ここもですね、やっぱりその測線の数、
0:31:39	あとは考え方、海底地形図を用いて、連続性を評価しているという考え方の違いだということなんであれば、
0:31:48	ここもおそらく海底地形図というのは御社としても把握してるで、
0:31:52	されてると思いますんで、
0:31:54	こういう海底地形図こういう形で引くと、
0:31:57	確かにこういう二つのプロジェクトみたいなやり方もあるかもしれませんが。
0:32:03	いやでも我が社はかくかくしかじかこういうものを使って評価して、
0:32:08	いうので、
0:32:10	これは今のそれぞれの担保。
0:32:12	だから、これ一応、
0:32:14	中通島と宇久島で断層を引く間は引かないわけですよ。そこについては、これ長期評価では、つなげているけど我々はつなげる必要がないんですという、
0:32:28	ちょっと考え方が違いました。で止まってしまっている部分は、これは前回のヒアリングでも言いましたけども、きちんと説明を尽くしていただきたいと。
0:32:38	ということです。
0:32:40	ここはYK1の促成ん。これはだから許可で考慮してない測線があるので、コンテンツでヒアリングの時にも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:47	町コウノ測線をもってしても、許可が変わらないんですねというのは、それは資料として、ちゃんと明記しますということなんでそこは改めて申し上げますので、
0:32:59	まずそこはですね、しっかりいただきたいと。
0:33:02	ということです。
0:33:08	あとはですねえ。
0:33:10	いいですかここもうしっかり直していただくんであればということでもう少しベター論で申し上げますと、4ページの確率論的ハザード評価のところなんですけど、
0:33:21	これ一、
0:33:22	今文章で書いてあって一応確かに、こういうことなんですけど、
0:33:29	ここをしますかね。
0:33:32	それでは、
0:33:33	何だ仙台の方の長京香一応確率論的ハザード評価でこういうツリーでやってますというのは、
0:33:41	出てきてますけど、
0:33:43	もしですねがもう少しハザード評価のところ、概略的に書いた上で、
0:33:50	小確率はハザード評価のところ、当然どこかで活動度BからC級、B、B級か。
0:33:59	地震ハザードとB級で、かつ、評価の流れの中でここでこうBqで一律評価してました。
0:34:06	ここに関連する情報が新しく手なんだけどもそれはBからC級とされてるんで影響がないんですっていうのは、一応文章としては書いてはいるんですけど、
0:34:15	これは詳細に全部ですね確率論的ハザード評価の内容を記していただく必要はないんですけど、
0:34:22	ここは
0:34:23	評価の流れとして評価のやり方としてはこう、
0:34:26	その中に関連するデータとしてこの部分が置き換わる。
0:34:30	可能性があるかっていうのを見たけれども、それは変わらないんです。カツラ増の長さですよね長さのところは先ほどの多分、
0:34:37	活断層評価のところの結果をもってそこは変わらない。
0:34:42	ちょハザード評価の中で長期評価に関連して、もし長期評価を取り入れるのであれば、変更。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:34:51	されるであろうですね。それが多分活断層の長さ、地震規模に相当する部分と、活動度の部分で、そこがいずれもこういうイデ変わらないんだっていうところで、
0:35:01	ずっとここは評価の流れを追ってですね、これはそんなのごく簡単な内容で結構ですけど、ちょっと仙台の方では、少しそういうのを試み、
0:35:11	出ますよね。
0:35:12	確かあのMw幾つだとM8 程度に対して、Mw幾つでやってますというのは、
0:35:18	わかるようにしてるんで、ここも工夫した
0:35:21	ことです。なんでここで許可の活断層評価とか影響はないということで、切っていた。
0:35:29	はい。
0:35:31	で、
0:35:34	見ますと、
0:35:37	そこはですね資料として作り、込みをしていただきたい。
0:35:42	ということです。なのでこれは少し感があるでしょうから、ちょっと審議とかですね、そういう形としては、一番は、玄海の地盤斜面と同じようなタイミングじゃなくてちょっとまた別の機会に、
0:35:57	やるということで、
0:35:59	あとはなぜここまで上げてというと、多分他のサイドの長期評価ですよ
0:36:06	ね。たときに、もちろん最終的な基準地震の基準面にももちろん影響がないんですけど、
0:36:11	そういった重要な文献ですよ。こういったものが、例えばそのうち、地質地質構造の調査の
0:36:21	調査でこういう文献を参照して調査から拾ってきましたとか、
0:36:25	そういうようなところは、直近のですね申請の中で拾って、結論として活断層よく変わらないとか、或いは地震の評価は変わらないけれども、
0:36:36	きちんとこうし大きな主要な文献でですね差分が出たときには、ただ取り入れてるっていうのは周辺のPWサイトでもやってますんで、そういったことも念頭に置いてのコメントになります。
0:36:48	ちょっとこれは資料の方ですね反映いただきたいんですけども、ちょっとまず玄海の方ですね、他確認、
0:36:55	ありますでしょうか。
0:36:57	ちょっと今ざっと全体申しあげましたけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:03	九州電力の徳永です。先ほど幾つかいただいたお話につきまして、まず冒頭、イントロのところですね、地震本部とこういう差があるのでこういう考えで影響確認をしていく。
0:37:16	という、皆さん、一般の人が読んだ上で行間がなるべく見えるように今、修正もかけているところではあるんですけどもしっかりと行間を埋めるようにまず修正をかけると。
0:37:27	ということ、活断層評価としてしっかりとスクリーニングをしていくのであれば、地震本部が持っていたであろう、データだけでの評価ではどうなるんだというようなところも、
0:37:41	あわせてす。
0:37:44	類推した上で、それを表記していくね、我々はしっかりとそのデータを、それ以外に追加したデータがあるんで、それがより鮮明にわかって、結局評価に至っているんだと、なので、変える必要はないんだというのがわかるような形で、
0:37:59	修正をしようと思います。で、
0:38:02	特に5ページ目とかで瀬アノ線活動度の判定のところの鮮新世以降、5メートルから10メートルの変位変形があれば、推本はアノ断層として認定されているんですけども、
0:38:14	岡村ほか2014とか、そういったものが断層トレースのこの辺の海域のメインの地震本部の評価になってるメインになってございますのでその辺の文献等も使いながら、
0:38:25	先ほど市長のお話の地震本部の評価の内容を、
0:38:29	丁寧にご説明させ差し上げたいというふうに思っております。それと最後にありましたハザードのところですね。
0:38:36	そこの部分につきましてもロジックツリー等で、海域活断層の活動度というところは見えるような形で、機構評価で説明をしてございますのでそこら辺の資料をちょっと充実させていきたいと。
0:38:46	いうふうに思います。以上でございます。
0:38:52	はい。
0:38:53	よろしくお願いします。
0:38:57	じゃ、
0:38:58	と玄海の方の長期評価は、よろしいですかねこちらはもう特には。
0:39:04	どっちか本店の方はいかがですか。
0:39:07	追加で何か。
0:39:08	確認したことがありますでしょうか。よろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:20	本店の方から特にございません。
0:39:25	はい、わかりました続いて仙台日向灘南西ですね。
0:39:30	こちらの中身の方はもちろん、ヒアリングで何度もお聞きをされていて、
0:39:37	地震規模の話だとか、そういう話もですね、組み合わせているんですけど、これはどちらかという、まず
0:39:44	長期評価で
0:39:48	こういうこれとこれとこれの情報が新しくなりました。
0:39:53	そのあとの影響確認、これ多分修正中だと。
0:39:57	思うんですけども、
0:39:59	サブ評価の評価と町教科との差分とか長期評価で新たに許可等内容とですね、関連する両方でどういう情報が
0:40:09	出て、どういう差があるので、従ってこういう内容を確認する必要があるんですけどってところがですね。
0:40:16	これは今鋭意直されているところを、
0:40:22	かと思いますので、それは引き続き同じようにここですね、
0:40:28	していただきたいんですけども、そういう時にですね、結構許可の内容とか長期評価の内容をそのままペタペタッと、
0:40:38	張りつけていて、例えば、
0:40:42	特にですね、22 ページところかな。
0:40:51	これもう許可のときにこういうことをやりましたっていうのがそのまま出るの、これだから許可の時の、南海トラフの評価と、
0:41:00	徴求場で言われていることってところが、多分これをですね字づら上で、一応比較はされていることになるんですかねこれ。
0:41:10	第2版のM8で上回るものを考慮しているっていう形で、
0:41:15	今日資料ペタップつけて長期評価のM8を上回るっていう説明だけをしていて、
0:41:22	多少その労力を、
0:41:26	削って、
0:41:28	書けないよりかけないようにですね、効率的にやられてるんだと思うんですけど、この辺をそうするとですね清岡の
0:41:36	長期評価で言われているものと許可後も、
0:41:40	差分というんですもひとつ対比が分かるような形に、
0:41:43	説明していただきたいかなとはもちろんの琉球海溝とかもそうです。
0:41:50	これは規模の話だし、
0:41:52	そうすると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:54	これワー
0:41:56	あれかなヒアリングところでも少し聞きましたけど領域の話とかも、
0:42:00	多分今だと、長期評価の第 1 版と第 2 版で、
0:42:05	が領域としてはこう変わりました。
0:42:07	それは、影響がないですっていう書き方かもしれないですけど、もう少し既許可でカバーして許可で日向灘の領域に設定してるとか許可で、
0:42:19	松波のですね波源として設定している容器と、今回状況下で改定された領域、
0:42:24	それが許可の方向でカバーできてるっちゃうことであればそれがわかるような形とか、
0:42:30	もっとですね、その辺は、
0:42:33	もちろんこれも一般の人という、先ほど津村さん申し上げて一般の人というよりも、当然我々、今ここにいる、我々、私も含めてですけど、
0:42:43	御社の今担当されてる人も含めてですけど、
0:42:46	それは当然この間ですね、静評価を読んでいるし、当然その必要があるんで許可の内容も、許可の内容も見て、話も聞いてたらわかるんですけど、
0:42:57	ただこれは、例えば、工認になってですね、きちんこの当時の内容をですね、後付検証。
0:43:05	をするような必要があったときに、
0:43:08	いやもう 1 回、説明をですね、聞かないとわからないと。
0:43:12	ような内容の資料になってしまうと困るという趣旨ですので、ちゃんとその長期評価と許可の評価の差分ですね、こういうのがわかるような形にしていきたいと。
0:43:24	いう理解ですこちらは、実はそんなに、
0:43:28	対してですね作業としてはないのかもしれませんが、
0:43:32	改めてこれ見せ方の問題ですね。
0:43:40	九州電力の徳永です。22 ページ、
0:43:44	琉球海溝の時、津波の方も含めまして末田家が張っていて既許可、長期評価と評価の差分で、
0:43:51	は、22 ページでいけば 8.4 というふうな数字を、
0:43:56	赤丸だけつき赤く四角だけつけているんですけども、今回、第 2 版で地震規模が 8 程度というところに対して、8.4 というふうな政治を既許可で設定しているので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:08	十分あるす規模を設定してるんだというのが下の絵で、しっかりとわかるように工夫をしていこうと思います。
0:44:17	で、28 ページ 29 ページは比較、比較的地震本部、上記評価と既許可を対比するような形で絵は貼り付けているつもりではいるんですけども、
0:44:28	そこら辺はちょっともう少し、しっかりと分の中でこれとこれを見れば、長期評価と許可がこういうふうな関係にあるんだというのがもう少しわかるように、
0:44:41	丁寧にちょっと何か矢印入れて少し文字をつけるとか、
0:44:45	そういうことをさせていただきたいと思います。以上でございます。
0:44:50	はい。よろしくお願いします。
0:44:54	そうですね。はい。
0:44:57	で、ハザードの方はむしろ、こちらは、
0:45:01	前々回のヒアリングのときに申し上げて、前回のヒアリングで、こっちの方はきちんと、
0:45:08	わかりやすくですね。
0:45:09	今回の長期評価でどの部分が変わる可能性があったけども、下は影響がない情報だったんだっていうのは、
0:45:17	わかるように書いていただいているのでこれはこれで結構かと思います。
0:45:21	はい。
0:45:27	仙台の状況下の方は、こちらと他の方もこちらとしてもいいですかね。こちらはい。
0:45:34	なので、やっぱり。うん。
0:45:36	本当にあります。はい。
0:45:42	すいません録音債再開しますと通信が今さ、接続し直しましたんで再開します。
0:45:50	一通り仙台の方もですね今申し上げた通りで、
0:45:55	その長期評価と許可の評価の違いがなんで、そこで見直す必要がないんでというところで、
0:46:02	説明としてわかりやすくしていただきたいということですが、一応双方Webの九州電力の本店、
0:46:10	或いは何か追加で確認しておきたい点ありますでしょうか。
0:46:21	徳永です。我々の今、出席面着で出席しているメンバー特にございません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:28	はい。九州電力本店です。仙台の地震本部の評価に関してはこちらからも特にございません。
0:46:38	はい、わかりました。じゃあ、以上で追加のですねヒアリングは終了したいと。はい。吉井すいません。はいどうぞ。
0:46:48	本店から九州で出しております。ちょっと案件戻って申し訳ない。ございません。地盤斜面の方についての配置図、
0:46:59	の工夫について、1点ちょっと確認をさせてください。
0:47:09	よろしいでしょうか。はいどうぞ。一番斜面ですね。はい。先ほどこの配置図、例えば6ページとかの話とか配置図について、またサイト、
0:47:20	の事例なんかも踏まえて極力公開できるように例えば下の視察になっている図面あたりを
0:47:30	ベベル目にするなり何なりで工夫できないかというようなお話をいただいたというふうに認識しております。すいませんまだサイトがどうなるかというちょっと今こちらで調べながら行き当たってはいないんですけども、
0:47:43	一応当社、これ社内のルール上の考え方でございますけども、SA設備、特に衛生設備についてはその位置が特定できないように、
0:47:53	なので、したの図面が、デフォルメされてても例えばSA設備同士の相対関係辺りがわかると、やっぱり位置が特定できる情報になってしまうので、
0:48:05	これ図面という形でやろうとすると、その設備の配置自体も何かデフォルメするような形になってしまうんですけども、
0:48:15	ちょっとそういうイメージはさっきご指摘いただいたイメージから外れルウのかどうなのか、ちょっとその感触を、
0:48:24	お伺いできるかという質問でございます。以上です。はい、秋月です。なので、そのSA施設については、いわゆる全体をフルもしようがしなからうが、
0:48:36	名称と一井をオープンにできないのが、それが御社のルールなんだとすると、
0:48:43	そうするとだから7ページみたいなものはどうや、どうやって、あれ、公開できない内容なわけですよ。その内容を含んだ断面図みたいなものも同じですよ。
0:48:53	一方で、設計基準対象施設についてはそうではないはずなんで、こっちは工夫ができるかもしれないとそういうようなお話ですかね。
0:49:05	はい。九州電力の明石でございます。まずそういう趣旨でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:09	はい。
0:49:10	なので、当然これ防護上どういう情報をオープンカができないかっていうのはきちんと御社の中でちゃんとルールがあると。
0:49:18	思いますので、そのルールを変えろと言っているわけではなくって、その範囲内でどうやれば、より透明性の確保ができるかという意味ですので、はい。
0:49:31	わかりました。九州電力の赤津でございます承知いたしました。ありがとうございます。
0:49:37	はいイマセトこちらでも全体通して、
0:49:42	増井さんどうぞ。規制庁の松田です。ちょっと先ほど行けばよかったんですけども、玄海の長期評価の、
0:49:50	について1点ちょっとお願い。
0:49:52	です。
0:49:55	17 ページ 18 ページで、
0:49:58	H地震本部の、
0:50:00	評価に30番とか37番と番号書いてあるんですけど
0:50:05	番号のない西山断層、
0:50:08	警護断層、
0:50:09	これは今回の2020年では、
0:50:13	評価の対象外で
0:50:17	九州地域ですかね、2013年の時の評価でそ、
0:50:23	それとの対応で変更はないですよっていうのが18ページに書いてあるそれを我々はわかるんですけども、
0:50:30	例えば、
0:50:31	21ページの図面等でやると、
0:50:37	ここにも
0:50:41	地震本部の陸域延長部としての西山断層警護断層の範囲というのをちょっと示していただけるともう理解が、
0:50:50	しやすいかなと。
0:50:51	どうかすると
0:50:54	おろ島近海断層体の南側南東部の分掛け5断層の延長のようなふうに、
0:51:00	読め、読み取られかねないので、その辺はちょっときちんと説明しておかないと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:06	うん、警護断層はもっと伸ばしられたんじゃないかっていうような誤解を、この図面からは受け取る方もいるかもしれないのでその辺は誤解のないようにきちんと、
0:51:16	地震本部の警護断層はここまででしたというような、
0:51:20	ことがわかるような図面にしていただければ、誤解が少ないかと思いません以上です。
0:51:27	九州電力の徳永です。今いただいたコメントにつきましては西山断層とK5断層について九州地方の長期化 2013、
0:51:35	あと、警護断層 2007 ですね、こちら辺の評価から変わってないことを明示を、今ちょうど修正をしていたところでございます。で、
0:51:43	先ほど松江さんからいただいたように図面上も、ノロシマ金海断層とK5断層が、誤解を招くような、記載してないですね、そういった形にもなりかねないということでもございますので、
0:51:55	そこは併記するような形で、図面上にも載せていこうと、いきたいと思えます。
0:52:00	以上でございます。
0:52:06	はい。
0:52:08	よろしいですかね今の点も、はい。
0:52:10	よろしければ以上で追加のヒアリングを終了したいと思います。はい。お疲れ様でした。
0:52:17	ヤマシタ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。